

目指せ！設置率100% 住警器プロジェクト

命を守るために住宅用火災警報器が必要です。すべての住宅に設置して、住宅火災による死者ゼロを達成しましょう。



住宅火災による死者のうち、約7割が65歳以上の高齢者です。死者が発生する要因として、火災の発見が遅れ、気付いたときは火煙が回り、すでに逃げ道がなかったと思われる事例が多く報告されています。住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）は、住宅内で火災の発生を早期に検知することで、音声や警報音で住民に知らせることができます。寝室と階段室に設置することが条例で義務付けられていますが、宗像地区では設置率（条例適合率）が68%と伸び悩んでいる状況です。

■設置する場所(例)

設置が必要な場所は、
寝室・階段等※です。

※階段は、寝室が2階以上にある場合に必要です。



10年経ったら交換しましょう



また、設置して10年以上になる住宅も多くなっていますので、10年で取りかえることを推奨しています。

宗像地区消防本部では住警器設置率100%を目標としています。取り付けるのが困難な方はご相談ください。みなさまのご協力が必要です。住宅火災による死者ゼロを目指して、安全・安心なまちづくりを構築していきましょう。

問い合わせ先

宗像地区消防本部予防課

0940-36-3080

